

岡山県 社会福祉

おかやまけんしゃかいふくし

この機関紙は、共同募金の
配分金によって発行しています。

2017
6
No.623



特集 地域の支え合いの盛り上げ役！ ～生活支援体制整備事業における生活支援コーディネーターの取り組みについて～

現場からの発信

社会福祉法人 倉敷中央天寿会

赤い羽根共同募金

県社協ニュース

法人の資源を活かした
『食』と『買い物』事業

「ふくし」の仕事人たち

SELP 商品のご紹介



社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
URL: <http://www.fukushiokayama.or.jp>
Facebook: <https://facebook.com/fukushiokayama/>



地域の支え合いの盛り上げ役!

～生活支援体制整備事業における 生活支援コーディネーターの取り組みについて～

介護保険制度がはじまってから17年。介護は家族がするものという時代から、今では介護が必要になったらヘルパーやデイサービスなどの介護保険サービスを利用することは、当たり前のことになりました。以前に比べると家族の負担は減った一方で、介護が必要になったときの暮らしについては、本当に豊かになったのだろうか。サービスは増えたけれども、地域との関係は、以前より薄れていないだろうか、そんな声もあります。

そうしたことも踏まえ、制度の目的を「サービスの提供」から「地域づくり」へと転換する発想の元、各自治体で進められているのが、「新しい介護予防・日常生活支援総合事業」（以下 新総合事業）及び「生活支援体制整備事業」（以下 体制整備事業）です。平成29年度からすべての自治体で新総合事業がスタートし、体制整備事業についても、県内の市町村で「生活支援コーディネーター」が選出され、本格的に動き出すところも増えてきました。

「生活支援コーディネーター」は、できるだけ介護サービスを利用しなくても暮らしていける健康づくり、介護が必要になっても住み慣れた場所で暮らしていける地域づくりを目指して、地域住民の支えあい、ボランティア等の助け合いの仕組みを地域の中に作っていく役割を担い、みなさんの住む町に配置されています。

今回の特集では、倉敷市のコーディネーターである松岡さんと、総社市のコーディネーターである劔持さんのお二人にお話を伺い、倉敷市で進める「通いの場づくり」と、総社市で進める「担い手づくり」について、取材しました。

総社市の
生活支援コーディネーター

総社市社会福祉協議会
けんもつ よしのり
劔持 美典 さん

倉敷市の
生活支援コーディネーター

倉敷市社会福祉協議会
まつおか たけし
松岡 武司 さん



倉敷市／通いの場づくり

地域の宝物に目を向けて…
「あるもの探し」から地域をつくる！

「通いの場」づくりの取り組みの一つとして、倉敷市では「くらしき『通いの場』ガイドブック」を作成されています。この作成に至った経緯を教えてください。

住民同士が気軽に集い、一緒になつて内容を企画し、ふれあいを通して「生きがいづくり」と「支え合いの仕組みづくり」の輪を広げるサロンやカフェなどの活動を倉敷市では「通いの場」と呼んでいます。倉敷市では、まずはこの

「通いの場」づくりを重点的に進めていこうという方針で体制整備事業に取り組んできました。ただし、ゼロからつくるといよりは、

「あるもの探し」だと考えています。

地域にはもともと沢山の通いの場やこれに携わる人々が存在して



村上サロンの様子(ガイドブックより)

いて、こういった今ある地域の宝物をあらためて見つめ直し、情報としてまとめ、発信することで人と場・人と人をつなぐことができるのでは、と考えました。そういった想いから実態調査や取材を重ね、約300か所の「通いの場」をガイドブックという形で紹介させていただくことができました。

この取材を通して生まれた新たな出会いや関係性は、私自身のコーディネーターとしての活動にも生かされています。

「あるもの探し」というのは、コーディネーターとして大切にされている考え方ですか？

そうですね。介護予防の促進や地域づくりが、誰かに言われたからではなく、住民の皆さんの手で自然に行われていることも多いん

ですよ。

例えば、ガイドブックでも紹介している「村上サロン」は、村上さんのお宅に近所の方が来られたらスタート、お茶を飲みながら色々なおしゃべりをし、夕方になったら解散。集われている近所の皆さんの「通いの場」になっていますが、無理なく自分達のペースに合わせて開催されているのが重要で、これを仕組みとして外側から作ろうと思ってもなかなか思い通りににはならないし、これまでの関わり合いがとても大切だと思います。

ただし、こういった自然発生的な取り組みゆえの弱さもあると思うので、その取り組みに意味づけをしたり応援することもコーディネーターの役割だと考えています。

今後の進め方について教えてください。

地域に根差した通いの場がなぜ今必要とされているのかを、より多くの人に伝えていきたいと思っています。このような話をして欲しいという声は愛育委員の総会等色々なところから多くいただいています。お話をさせていただくことで、新しい通いの場や取り組み

が生まれるきっかけになることもあります。

地域には「何かやってみたいな」と思われている方も多くいらっしゃるって、そう思われた時に周囲にいる人や場所、情報とその方をつなぐことで新しい取り組みが生まれていく。このような核となる方への働きかけとフォローを大切にしていきたいです。

また、社協内部での意識共有もこれまで以上に図っていきたいです。コーディネーターに求められる取り組みは、社協活動の実践そのものだと思います。そのため、社協職員一人ひとりがコーディネーターであるという意識をもち、地域と関わっていくことが重要であると考えています。



倉敷市の生活支援コーディネーター集合！
左から山下さん、松岡さん、戸川さん

ここにサポート事業

■ 対象者

- ・介護保険認定区分が要支援1・2の方
- ・基本チェックリストにより判定し該当になった方

■ サポート内容

- ・掃除・ゴミ出し・簡単な家事
- ・買い物・外出時の付き添い 等

■ 利用料金

1時間まで：500円 / 30分まで：300円

事業の内容も、住民の皆さんと話し合いながら決めていきました。



地域福祉の「担い手」が活躍されている取り組みの一つ、「総社市生活支援にここにサポート事業」について教えてください。

ここにサポートターとして登録している方が、地域の高齢者（要支援者等）の日常生活における「ちょっとした困りごと（掃除や買い物等）」をお手伝いする仕組み

総社市／担い手づくり
地域住民とともにつくる！
「笑顔」でつながる支え合い活動



サポーターによるサポート活動の様子

新総合事業への移行も踏まえ、従来から行われてきたふれあい型の地域づくりから、一歩踏み込んだ支え合い活動による地域づくりをめざしています。このことは、社協が目指す「ふだんのくらしの

みです。

サポーターは全6回の「総社市介護予防・生活支援サポーター養成講座」を修了した方々です。

平成27年度からの2年間で、127名の修了者のうち、92名がサポーターとして登録しています。事業がスタートした今年度、4月の利用件数は5件で、7名のサポーターが掃除（お風呂やトイレ掃除等）や買い物等のサポート活動に取り組んでいます。

「あわせ」を実現する取り組みだと考えています。

事業を進めていく上でどんなことを大切にされていますか？

地域住民と本音で話し合い、歩み寄りながら進めていくプロセスを重視しています。「制度が変わったから始める、サポーターになつてもらう」ではなく、地域の特性（強み）を共有する一方、地域にある課題はどういったことで、それを解決するために無理のない範囲で自分達ができることは何か不安に感じる部分はどこか、そういったことをしっかりと話し合いながら進めてきました。それは養成講座のプログラムや修了者を対象に継続的に行っている連絡会の中でも大切にしています。

今後、どのような事業展開をしていきたいと考えていますか？

新総合事業の展開は、新しい考え方ではなく、お互いさまの地域づくりを、更に一歩深めた取り組みの姿だと思っています。

これは、地域住民の声を聴き、一緒に考えながら支え合いのある地域をつくっていくという社協の役割と一致しています。福祉活動専門員や地域支援を行っているそ

総社市社協全体で、コーディネーター業務＝地域づくりに取り組みます！



の他職員とも連携しながら、社協全体でコーディネーターとしての役目を果たせるようにと考えています。

地域によるサポーター数の偏りや、若い世代の方の参画を広げること等の課題もありますが、地域の笑顔を見つけ、つなぎ、広げていくために、社協が一丸となり、地域住民や行政、また生活支援事業に取り組まれている他組織とも協働しながら、地域づくりに取り組んでいきたいと思っています。

赤い羽根共同募金

岡山県共同募金会



共同募金配分交付式

28年度に県民の皆様からお寄せいただいた募金の配分先が決定し、4月10日(月)きらめきプラザにおいて「共同募金配分交付式」を開催致しました。配分を受ける103施設・団体に対し、本会藤本道生会長より配分総額205,500,000円の配分決定通知書が交付され、地域福祉の更なる向上に活用されます。



平成28年度共同募金配分(平成29年度事業実施分)

受 配 者 ・ 事 業	内 容	配 分 額 (円)
県・市町村社会福祉協議会	地域福祉活動費等	166,030,000
民間社会福祉施設	備品・車両整備費等	18,380,000
民間県域福祉関係団体	活動費等	7,150,000
赤い羽根ボランティア団体・NPO活動支援事業	ボランティア団体・NPO活動費	480,000
地域ささえあいプロジェクト	NPO活動費等	10,610,000
NHK歳末たすけあい2次配分	福祉施設の備品整備・福祉団体の活動費	2,850,000
合 計		205,500,000

赤い羽根共同募金「地域ささえあいプロジェクト」参加団体の募集について

本プロジェクトは、地域の様々な社会課題の解決に取り組んでいるNPO法人等と協働し、社会課題を解決していく必要性を広く県民の皆様に応募しながら、NPO法人等の活動に必要な資金を募集するものです。

募金は、寄付者が使いみちを指定できる使途選択募金とし、寄付者が共同募金会専用の郵便払込票により参加団体を指定し、その指定した参加団体の活動費として共同募金会を通じて助成されます。

地域の社会課題の解決に取り組むNPO法人等の多くの参加をお願いいたします。

《参加団体要件》

- ・子育て支援及び児童健全育成に関する活動
- ・高齢者の生活支援及び社会参加に関する活動
- ・障がい者の生活支援及び社会参加に関する活動
- ・生活困窮者への支援活動
- ・孤立を防ぎ、またその解消を図るための支援活動
- ・自殺予防活動
- ・その他地域の社会課題の解決を図る支援活動

《募集期限》

平成29年6月15日(活動範囲：市町村区域内)
平成29年6月30日(活動範囲：県域)

《応募方法・申請書提出先等》

本会HP参照 (<http://akaihane-okayama.or.jp/>)
「赤い羽根共同募金
『地域ささえあいプロジェクト』実施要項」として掲載

《問い合わせ先》 岡山県共同募金会 TEL：086-223-0065



福祉人材センターからのご案内

問い合わせ先 TEL : 086-226-3507 FAX : 086-801-9190

「福祉のお仕事」ホームページのリニューアルのご案内



4月1日から「福祉のお仕事」ホームページがリニューアルし、機能が大きく変更されました。

<http://www.fukushi-work.jp/>

●福祉のお仕事をお探しの方

インターネット（スマートフォン、タブレットを含む）から求職者マイページを作成し、求職票を登録できるようになりました。求職者マイページから求職票を登録した後は、求人票の閲覧画面から求人票を掲載している事業所への「紹介依頼」や「応募」を行うことができます。

●福祉の人材をお探しの事業所の方

求人事業所の方は、事業所マイページから求職票を登録してスカウトに同意している求職者をスカウトできるようになりました。

●介護の資格を持っている方

届出者マイページから届出することで、福祉・介護等に関する情報を閲覧することができます。

※詳細は、福祉人材センターへ問い合わせください。

福祉人材センター研修の申込方法が変わりました

今年度より研修の開催案内につきまして、会員施設への各研修の開催要綱の郵送を廃止し、本会ホームページ内の「福祉施設職員等の研修案内」によるご案内になりました。

URL : http://www.fukushiokayama.or.jp/warkwelfare/sisethu_syokuin/

それに伴い、研修申込が本会ホームページ上の、各研修の「研修申込フォーム」からの入力申込となります。

研修申込を受付完了後、各施設へ受講決定通知をFAXにてお送りいたします。受講決定通知の送信は研修申込後、約7日以内（土・日・祝日を除く）を目安としております。

※ホームページ上より申し込みできない場合は、福祉人材センターへご連絡ください。

福祉の職場 見学・体験ツアーのご案内

岡山県内の小・中学校に通学する小学4年生から中学3年生とその保護者を対象に、福祉の仕事や職場への理解を深めることを目的に実施します。

- 日 程：7月22日（土）、25日（火）
8月19日（土）、21日（月）、25日（金）
- 行 程：各日9:00～16:00（1日2施設を見学）
- 定 員：各コース20名予定
- 申込期限：日程により異なります。

※詳細は、ホームページでも確認いただけます。

人材定着力向上出張講座のご案内

福祉人材センターでは、福祉介護職に就く職員の働きがいを支えるため、出張講座を開催しています。

- 期 日：7月4日（火）、12日（水）、20日（木）
8月9日（水）、17日（木）、29日（火）
9月8日（金）、13日（水）、26日（火）
※10月以降も実施します。
- 内 容：希望の講座、個別相談
- 対 象：福祉・介護サービス事業を実施している法人、事業所
- 予約方法：所定の用紙をファックスで送信
- 費 用：無料

※詳細は、ホームページでも確認いただけます。

高齢者・障がい者なんでも相談会 （巡回相談）のご案内

毎日の生活の中で、法律や福祉について困っていること、悩んでいることはありませんか？地域で安心して生活できるように、様々なご相談をお受けします。

- 主催：岡山高齢者・障がい者権利擁護ネットワーク懇談会
- 日時：7月22日（土）10時から15時
- 場所：浅口市金光公民館（浅口市金光町占見新田790-1）
- 相談無料、予約不要、当日は、ボランティアで専門職（弁護士、司法書士、社会福祉士等）が相談をお受けします。

<問い合わせ先>

岡山県社会福祉協議会 生活支援部 生活支援班
TEL : 086-226-4145

福祉の労務管理は福祉の社労士にお任せください！



労務管理で
困っている

- ・就業規則の見直し
- ・人材育成
- ・人材定着
- ・助成金の活用
- ・セミナー講師
- ・業務の効率化

Ai あい社会保険労務士法人 ☎ 0863-81-5634

特定社会保険労務士 佐藤起世子

〒706-0024 玉野市御崎 2-3-13

あい社会保険労務士法人

検索

<http://aisr.or.jp/> メルマガ募集中！

メルマガは HP からお申し込みください。

おかやまフクシ・カイゴWEBの開設について

岡山県、県社協等、官民12団体で構成する岡山県福祉・介護人材確保対策推進協議会では、福祉・介護の仕事に関する情報をトータルに発信するホームページ「おかやまフクシ・カイゴWEB」を3月に開設しました。

福祉・介護に関する情報だけでなく、福祉職場で働く先輩職員にインタビューし、『この仕事を指したきっかけは？』『この仕事の魅力は？』などの他、プライベートで夢中になっていることなども紹介しています。

また、福祉の資格取得を目指している学生にもインタビューし、

介護は何よりも笑顔が多い仕事。

この仕事を指したきっかけは？

元々私は人と関わるのが好きでした。専門学校で学んだ介護福祉士の資格取得後、介護福祉士の仕事に就きました。その中で、利用者から喜ばれるような笑顔が返ってくるのが、私の魅力の一つです。さらに私の所属している介護事業部で、その施設からの依頼によりクリスマス会に参加させて頂き、楽しさを覚えてもらいました。ご利用者様が笑顔で迎えてくださり、そのときの笑顔が印象的だったため「将来、介護福祉士で働きたい」と思うようになりました。



仕事の魅力や楽しさは？

「元気な方、あなたがいたら元気がでるわい」「あなたを思ふとね」とご利用者様から言われていただき、その言葉で私はやりがいを感じています。また、先輩職員からの丁寧なアドバイスやご利用者様からの「できるよ、頑張るね」という一言で成長を実感することがあるのが、介護の魅力だと思います。包み手、笑顔で仕事ができているのは、職員やご利用者様の支えがあるからだと思います。



センパイたちの声

Q4. 学校以外でしていたことは？
 週5回、夜10時から施設さんでアルバイトを頑張りました。

Q5. 就職活動はいつから始めましたか？
 8月の実習が終わってから、施設見学やボランティアに参加しました。

Q6. 就職活動の情報はどのように集めていましたか？
 学校の就職支援室や担任の先生から。実際にその施設で働いている先輩に面接頂きました。

Q7. 何箇所くらい面接を受けましたか？また、1番最初に面接を受けたのはいつですか？
 1カ所。

学生生活・就活Q & A

『この学校に入ってきたきっかけは？』『学校に入ってから大変だったことは？』などの学校での様子や、就職活動の気になること等についても掲載しており、自分になりたい職業を考え始めた中・高校生や保護者の方にも、福祉の仕事が身近に感じていただける内容となっています。イベントや合同説明会等の情報も随時更新されていますので、ぜひ、ご覧ください。

【問い合わせ先】

福祉人材センター

TEL 086-2226-3507

『おかやまフクシ・カイゴWEB』で検索。

“お車の共済の事なら！”



西日本自動車共済協同組合

お見積り、ご相談、無料で承りますので
お気軽にご連絡下さい！

岡山県支部 〒700-0927
 岡山市北区西古松237-126 松本ビル3F
 TEL086-246-3355 FAX086-246-3375

【本部】福岡市博多区東比恵2-15-25
 TEL: 092-441-5901

NJ730. 1603. 0250. 999999



●各種看板・サイン・POP・展示装飾・デザイン●

広告美術 企画・製作

美術工房



公益社団法人 全日本広告連盟加盟 岡山広告協会会員

TEL 086-271-4410 (代)
 FAX 086-271-4412

〒703-8251 岡山市中区竹田 17-13

夏たび 2017 夏旅金券プレゼントキャンペーン実施中

7月1日(土)～9月30日(土)の期間、ご出発の国内・海外募集型企画旅行を

8月16日迄にお申込いただくと、次回のご旅行にご利用いただける旅行金券をプレゼント

お一人様旅行代金が2万円以上10万円未満…2,000円相当の旅行金券

お一人様旅行代金が10万円以上…5,000円相当の旅行金券



名鉄観光 サービス株式会社

観光庁長官登録旅行業第55号
 (社)日本旅行業協会正会員ボンド保証会員
 岡山市幸町8-29 三井生命ビル9階

TEL: 086-225-2771 Fax: 086-225-7494 担当: 中西・深井・三鬼



社会福祉法人 経営者セミナーのご案内

社会福祉法人を対象に、社会福祉法人を取り巻く現状とこれからの経営戦略、地域共生社会の実現に向けた改革の方向性を理解することを目的に開催いたします。

◎日時 7月4日(火) 13時～16時
◎会場 岡山リーセント
カルチャーホテル

(岡山市北区学南町1-3-2)

◎対象 県内社会福祉法人経営者等
◎参加費 県経営協会会員…無料
県社協会員…5千円
県社協非会員…1万円

◎内容

講義「地域共生社会の実現に向けた改革の必要性」

厚生労働省 政策企画官

野崎 伸一氏

講義「社会福祉法人を取り巻く状況とこれからの経営戦略」

全国社会福祉法人

経営者協議会 会長

磯 彰格氏

◎締切 6月20日(火)

社会福祉法人 会計基準セミナーのご案内

社会福祉法人としてのガバナンスと財務規律の強化について学ぶとともに、社会福祉法人会計基準移行後の処理内容並びに関係書類の確認について、参加者同士で決算書類や関係書類(帳簿)等の記載内容を確認しながら、共通理解・認識を深めることを目的に開催いたします。

◎日時 8月1日(火)

10時～15時30分

◎会場 きらめきプラザ3階301会議室
(岡山市北区南方2丁目13-1)

◎対象 県内社会福祉法人の役職員・会計担当者等

◎参加費 県経営協会会員…2千円
県社協非会員…5千円

◎内容

講義「社会福祉法人としてのガバナンス・財務規律の強化と内部管理体制の構築について」

演習「社会福祉法人会計基準省令移行後の実務確認」

宮崎会計事務所 所長

宮崎 栄一氏

◎締切 7月14日(金)

【問い合わせ先】岡山県社協 福祉経営支援部 Tel 086-226-3529

社会福祉法人の 会計を完全フォロー!

曲
会計監査導入
サポート

- ・内部統制の構築のしかたはご存知ですか?
- ・業務のみえる化ができていますか?
- ・適切な帳表を作成し、経営判断に役立てられていますか?

目
法改正
サポート

- ・新理事・評議員はどんな人を選べばいいのか?
- ・定款・経理規程はどのように作成するのか?
- ・理事会・評議員会はどうやって運営すればいいのか?

思い当たるあなたは今すぐ!

社福経営サポートクラブ

株式会社 創明コンサルティング・ブレイン
SCB 公認会計士・税理士 宮崎 会計事務所

0120-747-824

(受付時間) 9:00～17:30(平日)

ホームページ <http://www.ssc-scb.com>

〒702-8002 岡山県岡山市中区桑野713番地10

私たちに
ご相談
ください!



SCB
社福サポート担当
いしはら

介護福祉士受験に 必須の 実務者研修

満席
クラス
多数!

8月生～6/27(火)

まで募集受付中 ※先着順となります。

受講料89,990円(税別)

※ホームヘルパー2級/初任者研修資格保有の方の金額です。

今年度(平成30年1月)の国家試験受験予定の方は
お早目のお申込がおすすめです。(1週間に約100件
ほどお申込いただいております。)※無資格の方は今
回のお申込がラストチャンスです!お急ぎください。

■一般教育訓練対象講座
(受講料の20%が戻ります。)

■教育ローン制度有
(月々4,400円～)※審査有



いつか受験したい介護福祉
士受験の為に受講しました。
修生:綾木茂子さん

三幸福祉カレッジ 岡山校

〒700-0826 岡山県岡山市北区鷹屋町2-5 安田岡山鷹屋町ビル5F
<http://www.sanko-fukushi.com/branch/kob/>

※お問い合わせはお電話でも承ります。

0120-515-350

(平日9:00～19:30/携帯可)

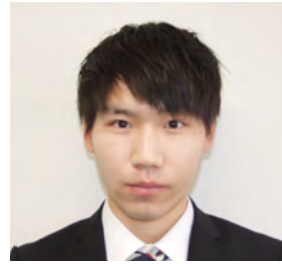
実務者研修の資料請求・お申込みはこちら

三幸 実務者研修

検索



県社協 新任職員紹介



はじめまして。このたび、岡山県社会福祉協議会に入職いたしました野村知宏と申します。

私の受け持っている業務は、主に三つあります。一つ目がゆうあいセンターでのボランティア情報に関すること全般、ゆうあいセンターでの助成金情報についての業務を行っています。二つ目が岡山県社協での、岡山県ボランティアグループ連絡協議会の業務です。こちらは、事務局として運営委員会等に出席しています。そして三つ目が、岡山県社協での助成金情報に関すること全般です。こちらの業務はホームページに社協に寄せられる助成金情報を載せる等行っています。

以上三つが私の受け持つ業務ですが、普段は主にきらめきプラザ二階のゆうあいセンターにいます。新たな環境で慣れないことばかりですが、がむしゃらに仕事に取り



組み、岡山県の住民の方々安心して生活できるように地域の福祉を支えていきたいと思っています。



四月より、「福祉経営支援部 福祉人材センター」に配属となりました、渡部遥香と申します。主に悩み相談、職場体験ツアーを担当しております。

岡山県出身で、徳島大学に通っていました。趣味はJ2フアジアーノ岡山の観戦で、大学時代はホームゲームの度に岡山に帰るほど応援しておりました。今年から今まで以上に観戦しやすくなり、非常に楽しみにしております。

また、大学は工学部で、LEDについて研究しておりました。今までは福祉とは全く畑違いの分野でありましたが、愛着のある岡山で、岡山の方々のために働けることを嬉しく思っております。まだ

まだわからないことばかりですが、頑張りたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。



はじめまして。四月より生活支援部に入職いたしました濱田美沙子と申します。

主に日常生活自立支援事業を担当し、同事業に係る生活支援員や専門員の方を対象とした研修会の企画、契約締結審査会の開催等に携わっております。

私は医療ソーシャルワーカー等を経て、この春、母校である岡山県立大学の大学院を修了いたしました。実務経験と大学院にて得た学術的知識の双方を活かし、岡山県の地域福祉の推進に貢献していきたい所存です。

権利擁護支援の重要性が高まる状況下にて人権意識を高くもち、一人ひとりを大切に尊重する“気持”を忘れず、地域住民や実施策協、各関係機関との繋がりを深めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

福祉の就職総合フェア ～岡山夏～のご案内

福祉の人材を求める事業所等と、福祉職への就職を希望する方との面談の場を設け、福祉人材の確保を目的として開催します。

- ◎日時：第1弾：平成29年7月30日(日) / 第2弾：平成29年8月11日(金・祝)
- ◎場所：岡山ロイヤルホテル(岡山市北区絵図町2-4)
- ◎参加方法：事前申込不要、参加無料、履歴書不要、入退場自由
- ◎内容：
 - ◇福祉の職場1分プレゼンテーション(12:00~12:50)
 - ◇福祉の職場面談会ガイダンス(12:50~12:55)
 - ◇福祉の職場面談会(13:00~16:00)
 - ◇福祉の相談コーナー、介護の魅力発信コーナー、就活応援コーナーもあります。

<問い合わせ先>

岡山県社会福祉協議会 福祉経営支援部 福祉人材センター
TEL：086-226-3507 FAX：086-801-9190



昨年度のフェアの様子



法人の資源を活かした 『食』と『買い物』事業

社会福祉法人 倉敷中央天寿会

社会環境の変化に伴い、福祉ニーズも多様化・複雑化する中で、既存の制度や住民の支え合いだけでは十分対応できない課題が顕在化しています。
このような中、改正社会福祉法において、「地域における公益的な取組」の実施が明文化され、高い公益性を有する社会福祉法人は法人の本旨に従い、他の事業主体では対応が困難な福祉ニーズに対応するなど地域社会に積極的に貢献していくことが求められています。
今号では、社会福祉法人倉敷中央天寿会が実施する法人の既存資源を活かした『食』と『買い物』事業の取り組みについて、倉敷中部高齢者支援センター（地域包括支援センター）の白神さんにお話を伺いました。

住民ニーズに応えたい 法人資源を活かしたサービスを模索

当法人では日頃から学区のサロンへの場所提供や専門職の講師派遣など地域に開けた施設を目指し、地域包括ケアシステムの構築に向け、法人の資源を活かした新たなサービスの開発を考えていました。地域住民からも『1人になり食事を作るのが大変』『サロンに行きたいけど移動手段がない』『自分で商品を見て買い物がない』『自分の声もあり、法人の資源を活用し、工夫することで解決できることもあるのではと考え、法人内の施設・事業所から実行委員を選出し、実行委員会方式で具体的な取組を検討することとしました。

検討にあたっては学区で行っている小地域ケア会議で地域課題の把握や介護保険サービス利用者のニーズ把握を行い、『食』『交流』



取材当日も14名の方が利用されていました ▲

『移動』『買い物』のニーズが高いこと、また、法人内には、『デイサービスの送迎車が日中空いている』『ケアハウスに活用できる部屋がある』『毎日おいしい手作りの食事を提供している』『専門職もたくさんいる』など色々な資源も眠っていることが分かりました。

地域では既に住民主体のサロンが設置されていたこともあり、今回は専門職が提供する軽度者向けの生活支援を検討しました。日中使用しないデイサービス送迎車の利用、ケアハウスで利用頻度の少ない部屋と厨房機能を利用した食事の提供、それぞれの部署から人材の協力も得て、法人内の既存の設備や資源を活かしたインフォーマルサービスを立ち上げることとしました。事業開始にあたっては、試行期間を経て、地域の民生委員

さんや愛育委員さんなどに事業の体験をしてもらい、事業の理解や周知も行いました。

『食』と『買い物』事業とは

この事業は、65歳以上の方の健康的な昼食の確保と食を通じた交流による孤独の解消、また移動支援により閉じこもり防止と生活意欲の向上や自ら買い物を行うことで自立した生活の獲得を目的としています。集団生活に適応し移動や移乗に介助が必要ない方を対象に、週2日、1日15名程度の方が低料金で利用できるサービスです。送迎も付いていて、利用者は昼食を取りながら交流し、帰りに近隣スーパーに寄って自分で買い物をして帰ることも楽しみにしています。

笑顔あふれる場に

利用される皆さんは、『皆で食べる食事はほんとおいしい』『毎週末るのが楽しみ』と笑顔で話してくれます。公的サービスと違い、柔軟な対応や煩わしい手続きもなく、気軽に利用できることも利点です。自分で買い物をしたり、色んな方と交流を図ることで介護予防の効果もあり、介護保険の



◀ 6名まで送迎も利用可能

『食』と『買い物』事業の1日の流れ

10:30 デイサービス送迎車を利用し、お迎えスタート

11:00 到着（自分で来られる方は11:20までに集合）

11:30 昼食

昼食の配膳は自分で行い、歩行が不安定な方の配膳は元気な方が手伝ってくれます。4人掛けのテーブルに自由に座ってもらい、自然と会話も弾みます。食事は栄養士が手作りで温かいものは温かく、冷たいものは冷たく食べることができ、治療食などの対応も可能です。職員提案で食後のコーヒーも提供しています。



12:50 買い物へ出発（送迎利用者）

送迎の範囲内であれば希望に沿った場所で下車も可能です。自分で来られた方は自由時間（自由解散）となります。

地域の一員として

申請を見送った方もいます。また、事業の利用を通して徐々に専門職との関係も築け、軽度の認知症の方や閉じこもり傾向の方への支援の入り口にもなっています。

事業開始時は福祉動向や法人理念を再確認するなど職員へ丁寧な説明を行いながら、事業の理解を進めてきました。今では職員も、参加者の喜んでくださる表情を見て自分達の取り組みも一握りかもしませんが、その方の生活に役立っていると確信しています。

【本事業の問い合わせ先】

社会福祉法人 倉敷中央天寿会
倉敷中部高齢者支援センター

倉敷市鶴形1-9-7

TEL 086-4330-6703

「あつたらいいな」「どうすればできるかな」をモットーに、プラス思考で行きたいと思っています。今後は世代間交流や子育て世代への支援として、夏休み等で日中親が不在にしている子どもたちと昼食を取りながら、参加者が宿題を教えるなど、自然のふれあいの中で相乗効果が生まれるような事業に発展させていきたいです。

社会福祉法人が、それぞれの地域の一員として活躍出来るように一緒に頑張りましょう。



一緒にピース！（真ん中が白神さん）

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償！！

平成29年度

ボランティア活動保険

全国200万人
加入！！

保険金額

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金		1,320万円	1,800万円
	後遺障害保険金		1,320万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)
	入院保険金日額		6,500円	10,000円
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
		外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の 各補償金額(保険金額)に同じ		
賠償責任	葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円(限度額)	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)	

年間保険料（1名あたり）

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		350円	510円
天災タイプ※ (基本タイプ+地震・噴火・津波)		500円	710円

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

※天災タイプでは、天災（地震、噴火または津波）に起因する被保険者自身のケガを補償しますが（天災危険担保特約条項）、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行事用保険

（傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険）

送迎サービス補償

（傷害保険）

福祉サービス総合補償

（傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険（オプション））

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事
保険会社〉

損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03 (3349) 5137

受付時間：平日の9:00～17:00（土日・祝日、12/31～1/3を除きます）

取扱代理店

株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03 (3581) 4667 FAX: 03 (3581) 4763

営業時間：平日の9:30～17:30（12/29～1/3を除きます。）

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

〈SJNK16-16921 2017.2.3作成〉

『ふくし』の 仕事人 たち



本会の会員である施設・団体等で働く「ふくし」の仕事に携わる人たちの声を紹介していきます。



すみれ保育園
伊丹 恵子 さん

①現在の仕事を始めたきっかけは？

私は7人兄妹の長女として生まれ、両親が働いていたこともあり、小さいころから幼い弟や妹たちの世話をしていました。ミルクを飲ませたり、オムツを交換したりと母親代わりのようなことをしていました。最初は嫌でしたが、世話をしないといけない環境にいたことで、次第に小さい子が好きになり、面倒をみたいと思うようになりました。

学生時代は、幼稚園が保育園の就職を考えており、短大の先生の勧めもあって、最初は幼稚園に就職しました。その後、結婚や出産を経て、仕事と家庭の両立を家族間で検討し

た結果、家から近いところで働きたいと思うようになり、今の保育園で働いています。

②今、主にどんな仕事をしていますか？

主任保育士を務めているので、保育のことはもちろん、日常的な一般業務等を職員へ指導しています。その他、クラスで手が足りていない時、子どもが困っている時には、保育の手伝いをしています。

③仕事を通じて体験した紹介したいエピソードがあれば教えてください

この仕事について、1年目の時のことです。当時の私は新卒で、保護

者の方々も年上ばかりでした。失敗しながらも、色々な先生に助けていただきながら『一生懸命やるのが大事』と教えられて頑張っていました。そんな中で、年長児のクラスを受け持ち、やっと卒園式を迎えた時ある保護者の方から『先生、1年目でもよく頑張ったね』と言われました。一生懸命やっていたら1年目でも共感してもらえるんだと感じ、そんな風に見てもらえていたことがとても励みになりました。

④今後、どんな「仕事人」になりたいですか？

日々の仕事を通じて、感じるのは、保育に正解はないということです。子ども1人1人が違うように、その対応も様々で、この間は上手なことだけど、次は、上手くないこともあります。そんな時は、園全体で話し合っていると思います。

この仕事は、子どもたちや周りの先生方から様々なことを教えていただき、自分自身も成長できます。私は、生涯子どもに携わる仕事をしていきたいと思っています。

社会福祉法人 旭川荘

望の丘ワークセンター



望の丘ワークセンターでは、標高約400m付近という立地を生かした生産活動に取り組んでいます。豆腐の製造や、野菜、果樹の栽培などを行っており、春は玉ねぎや白菜、夏はトマト、秋はりんご・梨、冬には椎茸といったように四季折々の季節を感じながら、利用者職員が一丸となって作業に汗を流しています。中でもりんごは県外からもご注文を頂くほどの人気で、よそでは栽培されていない幻の梨「武蔵」は当施設のイチオシ商品です。



●商品名 「武蔵」
●価格 1,500円(税込)
●内容量 箱入り(1箱、2〜3玉入り)

問い合わせ先

社会福祉法人 旭川荘 望の丘ワークセンター

〒716-0211 高梁市川上町上大竹1231 TEL:0866-48-3080 / FAX:0866-48-3088

機関紙「岡山県社会福祉」への ご意見・ご感想をお寄せください！

ご意見・ご感想をいただいた方の中から3名様にSELFP商品紹介事業所の商品をプレゼントします。なお、当選の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

【ご意見・ご感想はこちら】
機関紙へのご意見・ご感想、住所、氏名、年齢をご記入の上、下記までお送りください。

＜郵送＞
〒700-0807 岡山市北区南方2丁目13-1
きらめきプラザ3階
岡山県社会福祉協議会 広報班 まで
＜FAX＞ 086-227-3566 まで

編集 後記

『現場からの発信』の取材の中で、「同じ料理でも一人で食べるのと皆で食べるのは全然違う。皆で食べるとおいしい」と皆さん口を揃えて言われていました。『食』は単に栄養を取ることでなく、共に『食』することで、喜びを分かち合ったり、新たなつながりづくりにも結びつく力を持っています。誰かと『食』を共にする機会や場をつくっていくことが大事ですね。